

地域創造学類ポリシー（令和5年度以降）

ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）	地域創造学類では、現実の社会から提起される現代的諸課題に目を向け、それらを解決できる能力の育成を行う。そして、誰もが生き生きと安心して暮らせる社会、グローバルな共生社会、しなやかで折れない地域、将来にわたって持続発展する地域を実現するため、地域創造学の専門的知識と技術を修得し、地域の資源と特徴を生かし、質の高い個性ある地域づくりに意欲と責任をもって参加できる人材を、金沢大学〈グローバル〉スタンダード(KUGS)に立脚して育成する。また、海外の地域創造情報を自ら英語で収集し発信できる人材を育成する。本学類が掲げる人材養成目標を踏まえ、次の学修成果を達成した者に学士(地域創造学)の学位を授与する。
--------------------	--

専門基礎科目の学習成果

①	知識・理解	人間の生活基盤となる地域とその諸問題を理解するための地域創造学の専門的知識を修得している。
		理念目標・社会的責任 対象となる地域課題の理念・目標や社会的責任について理解している。
		現状理解・把握 対象となる地域課題の現状理解や把握について理解している。
		実践論・対処方法 対象となる地域課題の実践論や対処方法について理解している。
②	技能・表現	調査・分析方法 地域の諸課題の解決に必要な調査や分析の方法を修得している。
		伝達技能 他者の声に耳を傾け、自らの考えを的確に伝達するコミュニケーション能力と他者を繋げ合意形成に導くコーディネーション能力を身につけている。
③	思考・判断	地域や社会の諸問題を生活から制度・政策まで多角的に分析し考察できる。
④	関心・意欲	地域の諸問題を自ら探求し、よりよい地域の創造に貢献する意欲を持っている。
⑤	態度	地域で暮らすすべての人に共感と尊敬を持って接することができる。

地域創造学類のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成方針）	<p>地域創造学類では、ディプロマ・ポリシーに掲げる目標を達成するために、全学共通科目、専門教育科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業科目を開講する。教育課程については、カリキュラム・ツリーやナンバリングを用いてその体系性や構造を明示する。</p> <p>1. 教育内容</p> <p>(1) 学類基礎科目群では地域を知る基礎的な方法やリテラシーを学ぶ (2) 地域課題科目群では地域とその諸問題を理解し、専門的知識を修得する (3) 地域創造科目群では学生自身の将来像を意識させ、地域づくりのリーダーとしての素養を修得する (4) 演習及び実習科目群では地域を多面的に理解する調査や分析の方法を修得する (5) 地域創造学特別演習では多様な地域課題に対処する能力を高め、総合性を担保する (6) 卒業論文では修得した知識と方法を統合的に発揮して自ら発見した地域課題に向かい合う</p> <p>2. 教育方法</p> <p>(1) 学生の能動的学習を積極的に促すアクティブラーニングの手法を取り入れる (2) 地域課題解決に実践的に取り組むための現地実習やインターンシップを配置し、フィールドワークによるプロジェクト学習や問題解決学習の手法を導入した実践的学修機会を用意する (3) 外国語による地域創造に関する情報の収集と発信機会を提供する</p>
------------------------------	--

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和5年度以降)

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

区分	番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果					思考・判断	関心・意欲	態度			
							知識・理解		技能・表現		伝達技能						
							理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法							
専門基礎	15041	地域創造学Ⅰ	地域創造学の基本的な内容と特徴を理解するとともに、誰もが生き生きと安心して暮らせる地域をつくるうえで、地域創造学がどのように活用できるかを、具体的な事例を通して理解する。	地域創造、人と自然の共生、地域協働、共生社会、公共政策、地域マネジメント	1	1年	◎	◎				○		○			
専門基礎	15042	地域創造学Ⅱ			1	1年	◎	◎				○		○			
専門基礎	15043	地域創造学Ⅲ			1	1年	◎	◎				○		○			
専門基礎	15038	学類英語演習	海外の地域創造情報を収集し発信できる英語力を学生の主体的な演習によって修得する。	英語力、英語演習、TOEIC、Net Academy NEXT	1	2年				◎		○		○			
専門基礎	15044	学類基礎演習ⅠA	地域課題科目群の各プログラムが扱う領域と課題について理解する。	地域課題、人と自然の共生、地域協働、共生社会	1	2年			◎	◎		◎		◎			
専門基礎	15045	学類基礎演習ⅠB			1	2年			◎	◎	◎		◎		◎		
専門基礎	15046	学類基礎演習ⅠC			1	2年			◎	◎	◎		◎		◎		
専門基礎	15047	学類基礎演習Ⅱ	地域課題科目群の各プログラムが扱う地域課題の具体的なトピックや研究方法について理解する。	地域課題、人と自然の共生、地域協働、共生社会、研究方法	1	2年		◎	◎	◎		◎		◎			
専門基礎	15048	地域創造インターンシップⅠ	自治体、NPO法人、まちづくり協議会、民間企業等において、当該地域に滞在しつつ、受け入れ組織が提案する課題について、助言を受けながら実践的に学修する。	自治体、NPO法人、まちづくり協議会、民間企業、地域課題、解決手法、体験的学修、現場体験	4	2年	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎		
専門基礎	15049	地域創造インターンシップⅡ	学生の主体的なインターンシップ計画に基づいて、行政やまちづくりNPO、企業など民間団体が取り組む各種事業を現場で体験し、地域創造活動を実践的に学修する。	自治体、NPO、民間企業、市民、連携、政策立案、政策提言、問題発見、分析能力、現場体験	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎		
専門基礎	15050	地域創造インターンシップⅡ			2	1年	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	
専門基礎	15051	地域創造インターンシップⅡ			3	1年	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	
専門基礎	15052	地域創造インターンシップⅡ			4	1年	○	○	○	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	
専門基礎	15025	異文化体験(海外)Ⅰ	海外の大学や研究機関、語学学校、NPO・NGO等のボランティア組織、民間企業など、異文化環境での生活体験を通して、異文化の理解を深め、海外での就業・活動経験を積み、外国語運用能力を向上させる。	異文化体験、異文化コミュニケーション、短期留学、語学研修、海外ボランティア、海外インターンシップ	1	1年		○	○	○	◎	◎	○	◎	○		
専門基礎	15026	異文化体験(海外)Ⅰ			2	1年		○	○	○	◎	◎	○	◎	○		
専門基礎	15027	異文化体験(海外)Ⅰ			3	1年		○	○	○	◎	◎	○	◎	○		
専門基礎	15028	異文化体験(海外)Ⅰ			4	1年		○	○	○	◎	◎	○	◎	○		
専門基礎	15029	異文化体験(海外)Ⅰ			5	1年		○	○	○	◎	◎	○	◎	○		
専門基礎	15030	異文化体験(海外)Ⅰ			6	1年		○	○	○	◎	◎	○	◎	○		
専門基礎	15031	異文化体験(海外)Ⅰ			7	1年		○	○	○	◎	◎	○	◎	○		
専門基礎	15032	異文化体験(海外)Ⅰ			8	1年		○	○	○	◎	◎	○	◎	○		
専門基礎	15053	地域創造プロジェクト講義A	地域創造学に関連する先端的なトピックについて理解する。 地域創造に実践的に取り組んでいる講師から講義形式で学修する。	地域創造、先端的トピック、実践事例、解決手法、講義	1	1年	◎	◎	◎			○	○	○			
専門基礎	15054	地域創造プロジェクト講義B			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15055	地域創造プロジェクト講義C			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15056	地域創造プロジェクト講義D			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15057	地域創造プロジェクト講義E			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15058	地域創造プロジェクト講義F			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15059	地域創造プロジェクト講義G			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15060	地域創造プロジェクト講義H			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15061	地域創造プロジェクト講義I			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15062	地域創造プロジェクト講義J			1	1年	◎	◎	◎			○	○	○	○		
専門基礎	15063	地域創造プロジェクト演習A			地域創造学に関連する先端的なトピックについて理解する。 地域創造に実践的に取り組んでいる講師から演習形式で学修する。	地域創造、先端的トピック、実践事例、解決手法、演習	1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	○	
専門基礎	15064	地域創造プロジェクト演習B					1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○
専門基礎	15065	地域創造プロジェクト演習C					1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○
専門基礎	15066	地域創造プロジェクト演習D					1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○
専門基礎	15067	地域創造プロジェクト演習E					1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○
専門基礎	15068	地域創造プロジェクト演習F					1	1年	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○
専門基礎	15069	地域創造プロジェクト演習G	1	1年			○	○	○	◎	◎	○	○	○	○		
専門基礎	15070	地域創造プロジェクト演習H	1	1年			○	○	○	◎	◎	○	○	○	○		
専門基礎	15071	地域創造プロジェクト演習I	1	1年			○	○	○	◎	◎	○	○	○	○		
専門基礎	15072	地域創造プロジェクト演習J	1	1年			○	○	○	◎	◎	○	○	○	○		
専門基礎	15073	地域創造プロジェクト実習A	地域創造学に関連する先端的なトピックについて理解する。 地域創造に実践的に取り組んでいる講師から実習形式で学修する。	地域創造、先端的トピック、実践事例、解決手法、実習	1	1年	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○		
専門基礎	15074	地域創造プロジェクト実習B			1	1年	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
専門基礎	15075	地域創造プロジェクト実習C			1	1年	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	
専門基礎	15076	地域創造プロジェクト実習D			1	1年	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和5年度以降)

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

区分	番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果					思考・判断	関心・意欲	態度
							知識・理解		技能・表現					
							理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能			
人と自然	35A01	環境経済論Ⅰ	環境問題への経済学的アプローチの基礎を学び、特に自然資本と人工資本の関係から環境問題を理解する視点を身につける。	環境経済学入門、自然資本と人工資本	1	2年	○	◎				○		
人と自然	35A02	環境経済論Ⅱ	環境問題への経済学的アプローチの基礎を学び、特に自然資本と人工資本の関係から環境問題を理解する視点を身につける。	環境経済学入門、自然資本と人工資本	1	2年	○	◎				○		
人と自然	35A03	食環境学	食環境を構成する要素である栄養素、食品成分、食品表示などについての基礎知識を修得する。	食環境、栄養、食品	2	2年		◎	○			○	○	
人と自然	35A04	栄養生理学	糖質、脂質、タンパク質、無機質、ビタミンの栄養的意義、および糖質、脂質、タンパク質、エネルギーの代謝、スポーツや病態時の栄養摂取等について修得し、基礎的な栄養管理ができるようになる。	栄養、代謝、栄養管理	2	3年		◎	○			○	○	
人と自然	35A05	自然環境基礎論	日本と世界の自然環境・自然地理に関する基礎的な知識を取得する	自然地理学、地図、気圏、水圏、生物圏	2	2年	○	◎						○
人と自然	35A06	自然環境と社会	自然環境に対する人間社会の影響と、人間社会に対する自然環境の影響のそれぞれについて、理解をするための方法論について学ぶ。	自然環境、社会環境、ジオパーク	2	2年	○	◎	○					○
人と自然	35A07	自然環境論A	自然環境の変動について、主に第四紀に着目しながら、全球スケールからローカルスケールまでの影響を理解する。	自然環境変動、第四紀、氷期間氷期サイクル	1	2年		◎					○	
人と自然	35A08	自然環境論B	環境と生物分布の関係について、論文を通して学ぶ	地生態学、生物分布	1	2年		◎					○	
人と自然	35A09	資源活用と環境共生	地域が有する資源を活用し、より豊かな生活創出、優位にかつ持続的な産業活動や地域形成、教育・文化的活動などを検討していくための考え方、取り組み方や、その際に課題となる点などを地理学的研究などを採用しながら学ぶ。地域資源についてパンフレット・紹介マップを実際に行きつけ、報告・検討をする機会を通じて、標的市場や人々に効果的に情報を伝える技能を身につける。	地域、地理学、資源活用・管理、生活文化、持続可能性、真正性、マーケティング、ブランド	2	2年		○		○		◎	○	
人と自然	35A10	防災・減災と地理学	自然災害と地理的環境との関係性について理解する。作業・フィールドワークを通して、自然災害と人、地域・社会との関わりを意識し、的確な情報発信を試み、防災・減災への関心を醸成する防災マップ作成に取り組む。	自然地理学、防災、自然災害、土地条件、ハザードマップ	2	2年			◎	○		○	○	
人と自然	35A11	生態系サービス基礎論	わが国の生物多様性と生態系サービスについて学ぶ。前半では、農村・都市・水域の生物多様性について概観し、後半では、里山・里海の歴史と現状を重点的に取り上げる。	生物多様性、生態系サービス、里山・里海	2	2年	○	◎	○			○	○	
人と自然	35A12	河川政策論	河川や水に関する社会的な課題を理解すると同時に、それに関する公共政策の現状と課題、今後の方向性について理解する。	治水、利水、河川環境	1	2年	○	◎	◎				○	
人と自然	35A13	ヘリテージ・インタープリテーション	自然・文化・歴史資源のインタープリテーションについて、目的・原則・成果を理解し、実例の質を評価し、初歩レベルの適用・実施技術を取得する。	Interpretation, resource protection, themes, audience engagement, and informal learning	2	3年		○	○			◎	○	○
人と自然	35A14	環境と観光	観光における自然環境の維持や保全について知識を身につけるとともに、多様な視点から問題や対策を考えられるようになる。	Nature protection, protected areas, sustainable tourism, nature-based tourism	1	2年	◎	◎				◎	○	○
人と自然	35A15	社会環境論Ⅰ	「自然の地理学」研究に関する理解を深めることで、自然と社会、人間と環境の関係についての基礎的な洞察力を身につける。	人新世、自然、環境、社会	1	2年	○	◎				◎	○	○
人と自然	35A16	社会環境論Ⅱ	「自然の地理学」研究に関する理解を深めることで、自然と社会、人間と環境の関係についての応用的な洞察力を身につける。	人間、動物、生政治	1	2年	○	◎				◎	○	○
人と自然	35A17	環境社会学	環境問題への社会的アプローチの基礎を学び、自然と社会の相互作用の視点から環境問題を理解し解決策を考える能力を身につける。	環境と社会、順応的プロセス、環境ガバナンス	2	2年	○	◎	◎	○		○	○	○
人と自然	35A91	人と自然の共生プログラム専門演習	人と自然の共生領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を演習形式で学修する。卒業研究に向けて必要な知識・技能を修得する。	人と自然の共生、専門領域、方法論、演習	4	3年	○	◎	◎	◎		○	○	◎
人と自然	35A92	人と自然の共生プログラム専門実習	人と自然の共生領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を実習形式で学修する。卒業研究に向けて必要な知識・技能を修得する。	人と自然の共生、専門領域、方法論、実習	2	3年	○	◎	◎	◎		○	◎	○
人と自然	35A93	人と自然の共生プログラム共同演習	人と自然の共生における多様なアプローチを理解し、人と自然の共生プログラムにおける総合性を修得する。	人と自然の共生、総合的アプローチ、演習	1	3年	○	○	○	○		◎	○	○
地域協働	35B01	現代社会論	社会学における代表的な現代社会の理論を学び、近代社会誕生以来の社会変動と生活の変化に注目しつつ、現代社会の特質についてよりよく理解し、現代社会に存在するさまざまな問題や矛盾を発見する能力を養うことを目指す。	モダニティ、再帰性、リスク、個人化、消費、情報	1	2年	○	◎				○	◎	
地域協働	35B02	現代社会論研究	社会学における代表的な現代社会の理論を学び、近代社会誕生以来の社会変動と生活の変化に注目しつつ、現代社会の特質についてよりよく理解し、現代社会に存在するさまざまな問題や矛盾を発見する能力を養うことを目指す。	モダニティ、再帰性、リスク、個人化、消費、情報	1	2年	○	◎				○	◎	

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和5年度以降)

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

区分	番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果					思考・判断	関心・意欲	態度
							知識・理解 理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	技能・表現 伝達技能			
地域協働	35B03	公共社会学	人びとがともによりよく生きることを可能にする社会はいかなるものであり、どのようにして可能となるのか検討する。そのために、社会的なるもの、自由、平等、連帯、正義、そして公共性の理念について学ぶ。	社会、自由、平等、連帯、正義、公共性	1	2年	◎	○				◎	○	
地域協働	35B04	公共社会学研究	人びとがともによりよく生きることを可能にする社会はいかなるものであり、どのようにして可能となるのか検討する。そのために、社会的なるもの、自由、平等、連帯、正義、そして公共性の理念について学ぶ。	社会、自由、平等、連帯、正義、公共性	1	2年	◎	○				◎	○	
地域協働	35B05	市民自治論	市民による政治参加・社会参加の意義と方法について、政治史および政治理論的な背景を踏まえたうえで理解し、論じることができる。	市民自治、ステイクホルダー、公共性、熟議民主主義、合意形成	1	2年	◎	○	◎			○	○	○
地域協働	35B06	地域居住論Ⅰ	地域の居住環境を構成する空間的な要素と人の生活(都市計画、住まい、景観、交通、コミュニティなど)を対象に、各要素の役割や基本的な計画理念の学習を通じて、地域課題の発見や解決に必要な基礎知識を習得する。	都市計画、交通計画、住まい、まちづくり、景観、農村、住民参加、防災	1	2年	◎					○	◎	○
地域協働	35B07	地域居住論Ⅱ	地域の居住環境を構成する空間と人の生活(都市計画、住まい、景観、交通、コミュニティなど)に対する理解を深めるための具体的な事例や各要素の評価・分析方法などの学習を通じて、地域課題の発見や解決に必要な基礎知識を習得する。	都市計画、交通計画、住まい、まちづくり、景観、農村、住民参加、防災	1	2年		◎	◎	◎		○	◎	○
地域協働	35B08	景観論	「景観」という概念が発生した歴史的な経緯と変遷を理解し、これからの景観の在り方を考えるうえで必要な基礎知識を習得するとともに、景観の構成要素とその見方を学び、実際に地域を歩いて景観を読み解くための知識を習得する。	景観、まちづくり、町家、文化景観	1	2年	◎	◎	◎	◎		○	◎	○
地域協働	35B09	交通地理学	地域間交通や地域内交通の成立および課題について地理的条件に即して多面的に理解する。	公共交通、国土軸、都市圏、モビリティ、アクセシビリティ、ハブアンドスポーク、ゲートウェイ、高齢化	1	2年	○	◎		○		○	○	
地域協働	35B10	中山間地域の地理学	生業やまちおこしの具体例から、中山間地域における人と自然との関わり方について理解する。	中山間地域、中心周辺論、高齢化、生業、産業複合化、まちおこし、交流人口	1	2年	○	◎	○	○		○	○	
地域協働	35B11	イベント経営論	イベントに関する基礎的な理論とイベント活用の実践について理解する。	イベント学、スポーツイベント、イベント文化、地域イベント	1	2年	○	◎	○			○	○	○
地域協働	35B12	エンタテインメントマネジメント論	エンタテインメントの理論とマネジメント手法について理解する。	エンターテインメント業界、具体的事例(スポーツ、音楽、演劇、祭り)	1	2年		◎	◎			○	○	
地域協働	35B13	生涯スポーツ論	生涯スポーツについて、我が国の地域スポーツの動向、住民のスポーツライフ、国や自治体の施策から理解する。	スポーツライフ、生涯スポーツ社会、スポーツ政策、スポーツクラブ	1	2年	◎	◎	○			○	○	
地域協働	35B14	スポーツ文化論	スポーツを文化的側面から理解する。スポーツとメディアの関係について理解する。	スポーツ社会学、スポーツ文化、スポーツ観、スポーツ規範、メディアスポーツ	1	2年	○	◎	○			○	○	
地域協働	35B15	スポーツ社会学	スポーツの社会的アプローチについて理解する。スポーツを集団的側面から理解する。	スポーツ社会学、スポーツ集団、スポーツ空間、学校運動部	1	2年	○	◎	○			○	○	
地域協働	35B16	日本の地域システム	日本の諸地域における経済・社会の捉え方に関する手法を理解するとともに、取り上げる事象・テーマの実態を把握する。	都市、流通と商業、商店街、中心市街地、製造業、産業集積	2	2年	○	◎	○	○		◎	◎	
地域協働	35B17	北陸の地域と産業	北陸地域を事例に、主に人文地理学、経済地理学の手法を用いて、地域を多面的かつグローバル・ローカルに把握する見方・考え方を習得する。	地域性、産業、伝統工芸、地場産業、イノベーション、都市発展、北陸	2	2年	○	◎	○	○		◎	◎	○
地域協働	35B18	文化と地域経済	地域の文化・観光資源を活かした地域経済の振興に関する理論的枠組みを学修する。	地域の価値、意味づけの経済学、地域経済効果	1	2年	○	○	◎			◎	○	○
地域協働	35B23	北陸の都市・農村・文化	北陸地域の都市・農村の多様な地域性並びに両者の関係性を、自然・地理・歴史・文化の成り立ちから理解する。	北陸、都市と農村、文化と観光	1	2年		◎				○	○	
地域協働	35B20	コミュニティ・デザイン論	社会的・空間的な地域の課題について、参加のデザインで解決するコミュニティ・デザインの理念や思考技術を学ぶ。	コミュニティ・デザイン、参加のデザイン、環境的不公正	1	2年	◎	◎				◎	◎	
地域協働	35B21	観光地経営論	地方の衰退や都市再生などの地域の課題解決に向けて、多様な担い手の協働や共生社会の創造と地域特性に合わせた地域政策を考え、観光によって結びつく地域全体の経営を学ぶ。	観光地経営、コミュニティ開発、持続可能性	1	2年	○	◎	○			◎	◎	
地域協働	35B22	生活デザイン論	身の回りの物や自身の生活など様々なレベルのデザインがあることを学び、長中短期のライフデザイン(生活設計)を考える。	暮らし、生活者、生活設計	1	3年	○	◎	○	○		◎		
地域協働	35B24	地域調査マネジメントⅠ	(担当教員着任後に追加)		1	2年								

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和5年度以降)

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

区分	番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果					思考・判断	関心・意欲	態度
							知識・理解		技能・表現					
							理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能			
地域協働	35B25	地域調査マネジメントⅡ	(担当教員着任後に追加)		1	2年								
地域協働	35B91	地域協働プログラム専門演習	地域協働領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を演習形式で学修する。卒業研究に向けて必要な地域・技能を修得する。	地域協働, 専門領域, 方法論, 演習	4	3年	○	◎	◎	◎	○	○	◎	
地域協働	35B92	地域協働プログラム専門実習	地域協働領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を実習形式で学修する。卒業研究に向けて必要な地域・技能を修得する。	地域協働, 専門領域, 方法論, 実習	2	3年	○	◎	◎	◎	○	◎	◎	○
地域協働	35B93	地域協働プログラム共同演習	地域協働における多様なアプローチを理解し、地域協働プログラムにおける総合性を修得する。	地域協働, 総合的アプローチ, 演習,	1	3年	○	○	○	○	◎	◎	○	○
共生社会	35C01	高齢者福祉論	高齢化社会の内容と高齢者の特質、高齢者保健福祉の制度体系等について、授業およびレポート作成を通して理解を深め、これらに対する自分自身の意見をまとめる。	高齢者, 高齢化社会, 高齢者保健福祉	2	2年	◎	○		○		○		
共生社会	35C02	子ども福祉論	子どもの貧困の実態を多面的にとらえ、支援ニーズと支援の在り方について意見を述べる事ができる。	子どもの貧困, 子どもの権利, 子どもの権利条約, 社会的養護, アフターケア, 権利擁護	1	2年	◎	◎		○		◎	○	
共生社会	35C03	障害学	障害のある人々をとりまく現状と課題を、障害の社会モデルの視点から理解し検討することができる。	社会モデル, 障害者権利条約, 障害者政策, 障害者福祉	1	2年	◎	◎				◎	○	○
共生社会	35C04	医療社会学Ⅰ	医療の場が様々な立場の人の相互作用やコミュニケーションで構成されていることを理解し、健康と病気、医療をめぐる規範や価値観を分析できる。	医療, コミュニケーション, 医療者—患者関係, 自己決定	1	2年		◎				◎	○	
共生社会	35C05	医療社会学Ⅱ	現代医療の分析概念としての医療化と脱医療化について理解し、社会変動や技術の進歩、価値観の変化と関連づけて検討できる。	医療化, 脱医療化, 医療的ケア, 支援	1	2年		◎				◎	◎	○
共生社会	35C06	アドボカシー論Ⅰ	権利擁護が必要とされる福祉の現代的状況と、社会的排除や権利侵害に対するアドボカシーの意義を理解できる。	人権, 権利擁護, アドボカシー, 当事者支援	1	2年	◎	◎	○			◎		○
共生社会	35C07	アドボカシー論Ⅱ	権利擁護とアドボカシーに関わる各種の事業と、それに係る組織や団体の役割と実際の活動を理解できる。	成年後見制度, 福祉サービス利用支援, 社会福祉協議会, 当事者団体	1	2年	◎	◎	○			◎		○
共生社会	35C08	科学技術と社会	科学と社会の間に生じる様々な課題について理解し、科学技術を通じた地域貢献について考えられるようになる。	科学技術, 社会, 対話, コミュニケーション, 専門家, 非専門家, 市民	1	2年	◎					○	◎	○
共生社会	35C09	雇用政策論	就労困難層に対する福祉と就労の連携策やそれをめぐる政策論争を学ぶことを通じて、すべての人が就労による社会参加が可能となる社会の条件について考察し意見を述べる事ができる。	ワークフェア, アクティベーション, 最低生活保障, インクルージョン	1	2年			◎			◎	○	
共生社会	35C10	現代社会と貧困	社会福祉学や経済学の観点から、公的扶助・生活保障制度・低所得者支援についての抽象的理論と具体的制度について基本的な理解ができる。	公的扶助(生活保障), 貧困, 社会的排除, ケイパビリティ, 自立支援	2	2年	◎	◎	○			○		
共生社会	35C11	家族支援論	・少子高齢化と個人化の進展により、揺らぎつつある現代の家族の構造と機能について理解することができる。 ・現代家族の諸問題について把握し、それら諸問題を克服するための家族支援について理解を深めることができる。	家族の構造と機能, ダイバーシティ, ワーク・ライフ・バランス, 家族福祉, 家族支援	2	2年	◎	◎		○		○	○	
共生社会	35C12	対人コミュニケーション演習Ⅰ	コミュニケーションの構造理解をとおして、様々な障害等のある人とのコミュニケーションについて学習する。学生個々が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。あわせて、他者を理解する前提として、自己の価値基準、基本的前提、感情等についての理解ができる。コミュニケーション技術の基本を身につけることができる。	対人援助, 面接, 記録	1	2年		◎	◎			◎	◎	○
共生社会	35C13	対人コミュニケーション演習Ⅱ	コミュニケーションの構造理解をとおして、様々な障害等のある人とのコミュニケーションについて学習する。学生個々が自分自身で学習し、考え、主体的に行動する態度を涵養する。あわせて、他者を理解する前提として、自己の価値基準、基本的前提、感情等についての理解ができる。コミュニケーション技術の基本をより深く身につけることができる。	対人援助, 面接, 記録	1	2年		◎	◎			◎	◎	○
共生社会	35C14	人類学的異文化理解Ⅰ	文化人類学の視点から見た地域文化の多面的な様相を、具体的事例検討を通して把握する。	人類学, 地域文化, 異文化, 文化と社会, 多面的理解, 多様性, トルコ	1	2年		◎				◎	◎	
共生社会	35C15	人類学的異文化理解Ⅱ	文化人類学の視点から見た地域文化の多面的な様相を、具体的事例検討を通して把握する。	人類学, 地域文化, 異文化, 文化と社会, 多面的理解, 多様性, インド	1	2年		◎				◎	◎	

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和5年度以降)

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

区分	番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果					思考・判断	関心・意欲	態度
							知識・理解		技能・表現					
							理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能			
共生社会	35C16	イスラーム社会と文化	イスラームの基礎的事項と、世界のイスラームの多様性を理解し、ともに生きるための考え方を学ぶ。	イスラーム、ムスリム、多様性、イスラーム社会、トルコ	1	2年		◎	◎			◎	◎	◎
共生社会	35C17	人の流動と定着	国際人口移動の動向について学び、それが生起する問題の多面性を把握する。 各テーマについて「通説」や「常識」とはわれない見方を身につける。 多様な学説を論理的に吟味しつつ、自らの考えを導き出す。	国際人口移動、多文化社会、移民の包摂/排除	1	2年		◎				◎	○	○
共生社会	35C18	ダイバーシティ促進	国籍、性別、年齢、雇用・就業形態や多様な価値観や働き方を受け入れる社会として、ダイバーシティやインクルージョンの意義を理解するとともに、今後の展開について実践的に学ぶ。	ダイバーシティ、インクルージョン、多様性、アンコンシャスバイアス、ジェンダー、性的少数者、働き方	1	2年	◎	◎		○		○	◎	○
共生社会	35C19	人権論Ⅰ	グローバルな視点から、人権の歴史展開とその意義について理解するとともに、日本及び地域の人権保障上の課題について考えるための基礎知識を身につける。	人権、日本国憲法、国際人権法、ジェンダー、差別	1	2年	◎	◎		○		◎	◎	○
共生社会	35C20	人権論Ⅱ	地域及び社会に存在する具体的な差別や人権侵害の問題について、人びとの人権保障の観点から解決策を考える力を身につける。	人権、ジェンダー、子ども、若者、女性、セクシュアルマイノリティ、障がいのある人、ハンセン病、被疑者・被告人、外国人、患者の権利	1	2年	◎	◎		○		◎	◎	○
共生社会	35C21	国際開発論1	途上国の社会経済にまつわる問題を検討することを通じ、「開発はどうあるべきか」という世界共通の問いに対して自らの見解を論じられるようになることを目指す。	開発経済学、貧困、人間開発	1	2年				◎			◎	○
共生社会	35C22	国際開発論2			1	2年				◎			◎	○
共生社会	35C23	国際開発論1E	途上国の社会経済にまつわる問題を検討することを通じ、「開発はどうあるべきか」という世界共通の問いに対して自らの見解を論じられるようになることを目指す。	開発経済学、貧困、人間開発	1	2年				◎			◎	○
共生社会	35C24	国際開発論2E			1	2年				◎			◎	○
共生社会	35C25	国際協力体制	本講義では、国際協力の主体となる組織とその役割について理解し、その国際協力に関連する組織の実践を学び、国際社会の仕組みについて説明できるようにする。	多国間協力、二国間協力、NGO、企業の社会的責任	1	2年	◎	◎				○	○	○
共生社会	35C26	SDGs基礎	1.自分の関心のある社会課題解決の重要性を自分の言葉で他者にわかりやすく説明できるようになる 2.自分の関心のある社会課題が発生する問題構造の仮説を論理的に説明できるようにする。 3.自分の関心のある社会課題がSDGsとどのように関連しているのかを説明できるようにする。 4.自分の関心のある社会課題の解決のツボは何かを、その根拠とともに他者にわかりやすく説明できるようになる 5.自分の関心のある社会課題の解決のために効果的と思われるアクションを提示することができるようになる	SDGs、システム思考、未来志向型問題解決	1	2年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
共生社会	35C27	SDGs実践	1.自分の関心のある社会課題解決の重要性を自分の言葉で他者にわかりやすく説明できるようになる 2.自分の関心のある社会課題が発生する問題構造の仮説を、問題の当事者へのヒアリングや現場の調査をもとに構築できるようになる 3.自分の関心のある社会課題の解決のために、人々の行動に対する動機づけを組み入れたアクションを提示することができるようになる 4.デザイン思考に基づいたアクションプランの改善を行うことができるようになる	SDGs、システムデザイン思考、未来志向型問題解決、フィールドワーク	1	2年	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
共生社会	35C91	共生社会プログラム専門演習	共生社会領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を演習形式で学修する。 卒業研究に向けて必要な知識・技能を修得する。	共生社会、専門領域、方法論、演習	4	3年	○	◎	◎	◎	○		◎	
共生社会	35C92	共生社会プログラム専門実習	共生社会領域における課題を指導教員の専門領域からのアプローチによって解決するための知識や技術、方法論を実習形式で学修する。 卒業研究に向けて必要な知識・技能を修得する。	共生社会、専門領域、方法論、実習	2	3年	○	◎	◎	◎	○		◎	○
共生社会	35C93	共生社会プログラム共同演習	共生社会における多様なアプローチを理解し、共生社会プログラムにおける総合性を修得する。	共生社会、総合的アプローチ、演習	1	3年	○	○	○	○	◎		◎	○
公共政策	35D01	政策学基礎論	公共政策を理解するために必要な政治学および政策学の基礎知識を得て、自らの理解を試験・レポートを通じて示すことができる。	政策過程、政策の目的と手段、政策決定、政策実施、政策評価	1	2年	○	◎	◎		○		○	
公共政策	35D02	地方政府論	地域政府の役割、仕組み、政府間関係について基礎知識を得て、自らの理解を試験・レポートを通じて示すことができる。	地方政府、地方自治、二元代表制、政府の権能、政府間関係	1	2年	○	◎	○		○		○	
公共政策	35D03	政策リサーチ	・公共政策にかかわる文献を講読し、そのアプローチの特徴や長所・問題点について論じることができる。 ・課題文献の理解にもとづき、各自の関心にしたがってレポートを執筆できる。	政策の分析と評価、記述的推論、事例研究、政策と規範	1	2年		○		◎		○	◎	

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和5年度以降)

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

区分	番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
							知識・理解			技能・表現		思考・判断	関心・意欲	態度
							理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能			
公共政策	35D04	リスクコミュニケーション	リスクコミュニケーションに関する考え方を理解し、学んだ知識やデータに基づいて科学技術のリスクについて説明できるようになる。	リスク、コミュニケーション、社会、信頼、認知、バイアス、対話	2	2年	◎				◎	◎	○	○
公共政策	35D05	地域社会のリスクガバナンス	リスクやリスクガバナンスに関する知識や考え方をともに、地域課題への貢献について考えられるようになる	リスク、コミュニケーション、ガバナンス、社会、信頼、市民参加	1	2年	◎				○	◎	○	○
公共政策	35D06	地域環境ガバナンス	地域環境問題をめぐる合意形成や利害調整の具体例や課題について理解し、ガバナンスのあり方と環境問題の関係について理解を深める。	環境ガバナンス、合意形成、利害調整、政府の失敗	1	2年	○	◎	○				○	
公共政策	35D07	環境政策論	環境政策をめぐる政策過程の実態について理解し、それを分析するためのフレームワークを理解し活用できるようになる。	環境政策、政策過程分析、政治過程	1	2年		○		◎	◎			
公共政策	35D08	社会政策論	雇用・労働に関する社会政策が歴史的にどのように発展してきたかを理解する。また、今日の労働問題をめぐる対抗について理解するとともに、望ましい労働政策について自らの意見を持てるようにする。	失業、非正規雇用、労働市場、ワーキングプア、長時間労働、賃金格差	2	2年			◎		○	◎	○	
公共政策	35D09	介護政策論	介護保険制度についての制度と理論の基本的理解を習得する。	介護、健康、少子高齢化社会、地域包括ケアシステム、準市場	2	2年	◎	○		○		○		
公共政策	35D10	スポーツ政策論	我が国のスポーツ政策について、国や自治体の法、条例、施策から理解する。	スポーツ基本法、スポーツ基本計画、スポーツ推進計画、国、自治体	1	2年	◎	◎	○			○		
公共政策	35D11	保健医療論Ⅰ	保健医療に関するアクセシビリティに関して、実例を学ぶ。実社会での課題について学び、その課題における原因や対応について議論する。	アクセシビリティ、健康格差、精神保健、人権	1	2年	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
公共政策	35D12	保健医療論Ⅱ	保健医療サービスの利用者やその家族を支える医療と福祉の連携、保健医療サービスのあり方を理解し、今後の方向性を学ぶことにより、我が国における保健医療福祉における今後の方向性について理解出来るようになる。	アクセシビリティ、健康格差、精神保健、保健医療制度、国際保健	1	2年	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎
公共政策	35D13	社会保障論	社会保障についての制度と理論の基本的理解を習得する。	社会保険、社会福祉、公的扶助、社会保障の財政、社会保障の規範理論	2	2年	◎	○		○		○		
公共政策	35D14	地域計画論	学際的な地域計画の基礎を理解し、地域計画・地域政策・地域問題の関係を地域的條件や政策立案過程を踏まえて理解することができる。	地域計画、地域政策、地域問題	1	2年	○	◎				○		
公共政策	35D15	農村計画論Ⅰ	農村計画と社会的な背景の有機的な構造について理解する。	農村、農村計画、土地利用計画、生活環境整備、農村環境、中山間地域、撤退の農村計画	1	2年		◎	○		○	○		
公共政策	35D16	農村計画論Ⅱ	農村計画と社会的な背景の有機的な構造について理解する。	農村、農村計画、土地利用計画、生活環境整備、農村環境、中山間地域、撤退の農村計画	1	2年		◎	○		○	○		
公共政策	35D17	政策社会学	・社会問題の解明と政策形成の技法を理解する。 ・現代社会における価値と規範の構図を理解する。 ・政策形成における熟議民主主義の意義を理解する。	政策、価値、規範、公共性、社会運動、熟議民主主義	1	2年	◎	○		○		◎		
公共政策	35D18	政策社会学研究	政策社会学の基礎を修得したうえで、それに基づいていくつかの例を取り上げて政策形成のポイントについて議論し、考察することができる。	政策、価値、規範、公共性、協働、熟議民主主義	1	2年	◎	○		○		◎		
公共政策	35D19	伝統文化変容論	伝統文化とは何か?「ホンモノ」の文化は存在するのか?などの問いを通して、現代社会における文化変容の様相を、文化人類学の視点から理解する。	伝統、文化、変容、現代社会、真正性、遺産化	1	2年	○	◎				◎	○	
公共政策	35D20	公共哲学	公共政策への応用を念頭に、公共哲学の基本的理解を習得する。	公共性、正義、自由、平等、共同性	1	2年	◎					◎		
公共政策	35D21	地方財政論	1. 国と地方の機能分担・財源配分の考え方を理解する。 2. 地方財政の歳入・歳出・地方債の構造を知る。 3. 歳入・財源構成の変化の背景にある政策動向を理解する。	政府間財政関係 自治体の歳入・歳入 公信用 行財政改革	2	2年	○	◎		○		○	○	
公共政策	35D22	労使関係法	労働組合の行う集団的行為には、個人の行為とは異なった特殊な法的考察が求められ、事例を素材にして、この点を習得する。また、労使紛争を未然に防止するとともに適切に解決するには、どのような点が重要かを理解する。	労働者、使用者、労働組合、団体交渉、労働協約、争議行為、不当労働行為	2	3年	◎	○				◎	○	
公共政策	35D23	基礎社会統計学Ⅰ	・記述統計の技法を学ぶ。 ・推測統計の考え方を学ぶ。 ・社会調査データの基礎的な分析法を身につける。	記述統計、推測統計、社会調査	1	2年			◎		◎	◎	○	
公共政策	35D24	基礎社会統計学Ⅱ	・記述統計の技法を学ぶ。 ・推測統計の考え方を学ぶ。 ・社会調査データの基礎的な分析法を身につける。	記述統計、推測統計、社会調査	1	2年		◎		◎	◎	◎	○	
公共政策	35D25	地域分析理論Ⅰ	(担当教員着任後に追加)		1	2年								

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和5年度以降)

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

区分	番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果								
							理念目標・社会的責任	知識・理解 現状理解・把握	実践論・対処方法	技能・表現 調査・分析方法	伝達技能	思考・判断	関心・意欲	態度	
公共政策	35D26	地域分析理論Ⅱ	(担当教員着任後に追加)		1	2年									
地域マネジメント	35E01	ソーシャル・ビジネス論	ソーシャル・ビジネスに関する理論と実際を学ぶ。	ソーシャル・ビジネス、公共性、経営、経済	2	2年									
地域マネジメント	35E02	経済地理学	都市や農山漁村の成立要因を、経済地理学の理論を踏まえて理解することができる。	農業立地論、工業立地論、中心地論、都市、農山漁村、開発、国土利用、地域構造、中心・周辺、地域問題	2	2年		◎		○		◎			
地域マネジメント	35E03	比較地域経済論1	政策過程の国際比較と理論考察を通して、政策過程に対する理解を深める。イノベーションを発揮する環境条件としての地域社会、地域経済、および地域政策に関する各理論・方法を学ぶ。	制度比較、イノベーション、地域経済	1	2年	○	○	◎			◎	○		
地域マネジメント	35E04	比較地域経済論2	1. 現代経済に関する地域的視点および地域経済分析の理念と方法を学ぶ。 2. 足下の地域の実態から経済社会の問題を解明する分析視角を養う。	グローバル化のもとでの諸地域経済の現状、課題、発展戦略	1	2年	○	◎	○	○		○			
地域マネジメント	35E05	文化と消費社会	消費社会における文化の位置づけや、グローバル経済下の地方経済と社会文化のあり方を具体的事例を通して学び、考察する。	消費社会論、グローバル経済、文化、文化の流用、流行、権利、地方、民族文化、表象	1	2年	○	◎				◎	○		
地域マネジメント	35E06	流通・消費と環境共生	地理学などの研究事例を用いながら様々な地域に存在する多様な資源が、複雑な・多岐に渡る地域や関係者、システムを通して流通、消費、普及する様子を注目し、その過程や構造と、そこで取り組まれている工夫や残されている課題を考察することができるようになる。	流通・消費、地理学、資源の特性・管理、フードシステム、消費倫理、持続可能性	2	2年	○	◎		○		○			
地域マネジメント	35E07	農村戦略論	わが国の環境保全の将来について考える。前半は環境の変化と環境保全について概観し、後半は山間地にしぼり、活性化や無居住化する際の環境保全について考える。	環境保全、山間地、活性化、無居住化	2	2年		○	○			◎	◎		
地域マネジメント	35E08	コモンズ論	自然資源を主な対象として、コモンズと地域社会との関わりの実態や、その持続可能な管理に向けた制度設計について理解できるようにする。	コモンズの悲劇、制度設計、社会生態システム	1	2年		◎	○			○			
地域マネジメント	35E09	住環境計画	近代化の過程における日本・欧米の住環境計画の理念・実践の潮流を学び、これからの住まいとまちづくりを考えるうえで必要な視点を学ぶ。また、アジア・アフリカなど異なる地域との共通点や相違点を理解し、複数の視点から住環境の在り方を捉えられるようになる。	建築計画、近代都市計画、集落、住環境改善、アジア・アフリカ	1	2年	◎	◎	◎	◎		○	◎	◎	○
地域マネジメント	35E10	パブリックスペース論	観光対象としての地域空間・都市空間を捉え、そこでの豊かな体験を生み出す空間としてのパブリックスペースのあり方と、そのデザイン手法について学ぶ。	パブリックスペース、都市デザイン、プレイスメイキング	1	3年	◎	◎	◎			○	◎	◎	
地域マネジメント	35E11	社会システム論	システム論の基本的な概念や理論を学んだうえで、社会科学において発展した社会システム論の展開を追い、社会を分析するさいの有用な道具として、社会システム論の思考方法を身につけることを目的とする。	システム論、社会システム、行為と構造、自己組織性	1	2年	○	◎		◎		◎			
地域マネジメント	35E12	社会システム論研究	社会科学において発展した社会システム論の展開を追い、最新の動向について学び、社会システム論の思考方法を身につけたうえで、社会システム論によって現実社会を分析することを試みる。	システム論、社会システム、行為と構造、オートポイエーシス	1	2年	○	◎		◎		◎			
地域マネジメント	35E13	マーケティング・マネジメント論	マーケティング(市場)での立場による違いを把握し、マーケティングの基礎理論と地域に根ざした運営上の課題を理解する。	モノ・サービスマネジメント、顧客満足、スポンサーシップ	1	2年		○	◎	○		○	○	○	○
地域マネジメント	35E14	健康フィットネス論	生活者の健康に関する意識と健康情報の収集状況から、健康フィットネス産業の現状と健康ビジネスの現代的課題を理解する。	健康マーケティング、フィットネス産業、健康評価	1	2年	○	○	◎			○	○	○	○
地域マネジメント	35E15	地域福祉共治論	・地域福祉に関する財政を含む行政・ガバナンスの理論・仕組み・実際を学ぶ。 ・地域福祉計画に関する理念・規範の抽象的内容、並びに内容・立案・策定・実施・評価方法(住民参加を含む)などの具体的内容を学ぶ。	地域福祉、行政、財政、ガバナンス、地域福祉計画	2	2年		◎		◎		○	○	○	○
地域マネジメント	35E16	地域社会とジェンダーⅠ	地域における様々な活動におけるジェンダーの作用を理解し、社会的排除の解決についてジェンダーの視点から検討することができる。	ジェンダー、社会的排除、共生	1	2年		◎				◎	◎	○	○
地域マネジメント	35E17	地域社会とジェンダーⅡ	家族のケアを行う人々の現状と課題を理解し、地域社会におけるジェンダー平等と多様性のあり方について検討することができる。	ジェンダー、ケア、多様性	1	2年		◎				◎	◎	○	○
地域マネジメント	35E18	地域社会学	地域コミュニティの実態について、内外の地域社会学理論から学習することとおして、自分自身の身近な問題として考え、地域コミュニティに生きる生活主体としての視点を養うことができる。	地域コミュニティ、まちづくり、地域集団、都市-農村、ソーシャル・キャピタル	1	2年	◎	◎				○	○	○	○
地域マネジメント	35E19	観光社会学	社会学理論や概念を用い、観光現象を所与のものとしてではなく、社会的に構築され制度化されたものとして批判的に検討することができる。	ツーリズム・モビリティーズ、観光とメディア、観光とジェンダー、観光と再帰性	1	3年	◎	◎				○	○	○	○

地域創造学類カリキュラムマップ(専門基礎科目)(令和5年度以降)

【◎】は、授業の中で重点的に取り扱われ、特に高い学習成果が期待される。
 【○】は、授業の中で取り扱われ、高い学習成果が期待される。

区分	番号	授業科目名	学生の学習目標	授業理解のキーワード	単位数	学年	学習成果							
							知識・理解			技能・表現		思考・判断	関心・意欲	態度
							理念目標・社会的責任	現状理解・把握	実践論・対処方法	調査・分析方法	伝達技能			
地域マネジメント	35E20	北陸観光産業論	今後需要の伸びが期待できるインバウンドビジネスを含む観光全般について、現状把握と今後の展望等、基本的な知識とその可能性を学習する。	観光、地域ビジネス、北陸、金沢	1	2年		◎	◎			◎		
地域マネジメント	35E21	持続的な観光	健全な観光とは何かを考え、訪問地の住民、来訪者、観光業者、観光資源がそれぞれの責を担うことなく持続的に関わることができる方法を提案できる。	Sustainability, visitor experiences, resource conservation, responsible tourism, ethical tourism	1	3年	◎	◎			○	◎	○	○
地域マネジメント	35E22	ローカルコモンズ論	ローカル・コモンズの創生の具体的な事例を学ぶことを通じて、地域資源の保全と活用の循環をマネジメントする方法論と理論を習得する。	ローカル・コモンズ, 地域資源, マネジメント	1	2年	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	
地域マネジメント	35E23	自然観光論	自然観光の基礎知識や理論、自然を観光資源として賢明に活用できる基本的知識を身につける。	エコツーリズム, 保全と利用, 観光ガバナンス	1	2年	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	
地域マネジメント	35E24	観光開発・計画論	観光地としての魅力を高めるために、これまでの観光開発の歴史の変遷を整理した上で、観光開発の未来を語っていくことは不可欠である。本科目では、関係人口を創出し、都市・農村間の補完関係を担保していくといった観点から観光開発の計画論について論じる。	観光開発、持続可能性、地域資源、観光資源	1	2年	○	◎	◎			◎	◎	○
地域マネジメント	35E25	都市計画	・都市計画の基本的考え方を理解し、主要な専門用語を説明できる。 ・都市と都市計画の歴史を理解し、都市づくりにおける都市計画の役割を説明できる。	都市問題、まちづくり、住民参加	1	3年	◎	○			○		○	
地域マネジメント	35E26	計画プロセス	・都市を対象とする各分野の計画の方法や手法を理解し、説明できる。 ・主要な都市計画先進国および日本の計画制度を理解し、説明できる。	都市問題、まちづくり、住民参加	1	3年	◎	○			○		○	
各プログラム共通	35402	地域創造学特別演習	卒業論文のテーマ設定や方法論、研究成果について討論し、地域創造学における専門性と総合性を学修する。	地域創造学的アプローチ、卒業研究、討論、発表会	1	3年	○	○	○	○	◎	◎	○	○
各プログラム共通	35400	卒業演習	各自の関心・テーマを探究し卒業論文を執筆するための研究・実験・調査等を行うとともに、論文執筆の技法を身につける。	卒業論文、論文執筆の技法	4	4年	◎			◎	◎		◎	
各プログラム共通	35401	卒業研究	各自の関心・テーマを探究し大学での学習の集大成となる卒業論文を執筆する。	卒業論文	6	4年		◎	◎			◎		◎